



『掛川市史』は、私たちレファレンス係にとっての図書館のようなもので、
【掛川のことを聞かれたら→市史へ】といういつもそこにある力強い支えです。『大東町史』、
『大須賀町史』も加わりさらに強力なものになりました。

しかし、その膨大なページ数と濃い内容を完全に読みこなしているとはいえません。

「どうして大東にある小笠神社の矢を、私の住む掛川の五明の人が作るのか？」という質問があった。小笠神社誌によると、確かに「・・・矢作り祭の折、掛川の溝江・石ヶ谷・五明付近の信徒が作る。」と記されている。しかし、頼りになる市史にもどうしてそうなのかは記載が無い。思うような結果の出せないまま、頭の片隅に宿題として残したままだった。

ある日、『ふるさと掛川 2』（380）という冊子を見ていたら、石田平八郎さんの書かれた『小笠神社と矢はぎ祭り』として由緒が載っていた。時は室町時代にさかのぼり、足利内戦で、紀州より遠江に逃亡してきた県一族が再起を誓った集合場所が小笠神社であったという事、また県一族の末裔が分散した地区が、五明を含む西郷地区であった事など、諸所に歴史の波にのまれ変遷しながら今に伝わってきていることがわかる。

伝承とはこういうことかと深いため息のもれるレファレンスでした。

(担当：F)

掛川・大須賀館 新着図書案内



『静岡県の山』	加田勝利 著	山と溪谷社	(地理)
『サマワのいちばん暑い日』	宮嶋茂樹 著	都築事務所	(世界情勢)
『地村保 絆なお強く』	地村 保 共著	主婦の友社	(戦略)
『天然素材が気持ちいいね Vol. 1』	月居良子 著	文化出版局	(洋裁)
『天切り松闇がたり』第4巻	浅田次郎 著	集英社	(小説)
『たば風』	宇江佐真里 著	実業之日本社	(小説)
『アイズ』	鈴木光司 著	新潮社	(小説)
『小判商人』	平岩弓枝 著	文芸春秋	(小説)



保存期間の過ぎた雑誌をおゆずりします



中央図書館にて、保存期間の過ぎた雑誌を市民の皆さんにおゆずりします。

期間：6月1日（水）～19日（日）

場所：生涯学習ホール

* 1種類の雑誌につき、1人1日2冊までです。

合わせて8冊までとします。

